

NRI野村総合研究所(導入)

- 2020年から社内への導入を開始し、社内外とのコミュニケーションインフラとして活用しています。
 - 音声・画像品質の高さからZoomを採用しました。
 - 運用面を考慮して社内標準PCをベースにZoom Rooms用デバイスを設計しました。
 - 2020年末に全国拠点へ600台以上のZoom Roomsを設置完了しました。
 - 1ヶ月の使用時間は15,000～20,000時間にのびります。
- 様々なシーンで社員の新しい働き方をサポートしています。
 - 出社・リモートワークのハイブリッド環境下でのチームミーティング
 - 複数拠点をつなぐ大規模イベント(社内会議、研修・セミナー)
 - お客様とのオンラインミーティング
 - いつでも気軽に話かけられる拠点フロア間での常時接続
 - オフショアパートナー会社との進捗確認会
- 会議室の特性に応じた会議設備を準備しています。
 - 会議室サイズに応じた3パターンの標準デバイスを設計しています。
 - プロジェクターや既存モニターを有効活用しています。
 - 標準化により導入・運用の効率化、導入までのリードタイム短縮を実現しています。

NRI野村総合研究所(導入)

■ 会議室サイズに応じた導入イメージ

	小規模構成	中規模構成	大規模構成
収容人数	1～6人	6～12人	20人～
会議室イメージ	<p>セカンドモニタ兼個人専用会議デバイス</p>  <p>小規模会議室</p> 	<p>キャスター付きモニター</p>  <p>壁掛けモニター</p> 	<p>大会議室</p>  <p>オープンスペース</p> 
主な用途	会議	会議、プレゼンテーション	会議、プレゼンテーション、セミナー

NRI野村総合研究所(導入)

■ 標準構成例



ディスプレイ



Zoom Rooms用PC



カメラ・マイク・スピーカー



操作用タッチデバイス
(ディスプレイがタッチパネル対応の場合不要)



Zoom Roomsライセンス

NRI野村総合研究所(保守・運用)

- 保守体制を充実させ、日々の安定稼働を実現しています。
 - Zoomダッシュボードを活用して障害を迅速に検知しています。
 - 現地システム管理者へ切り分け手順を提供し、既知の障害に対する復旧時間を短縮しています。
 - 全国レベルのサポート体制を構築し、リモートおよびオンサイトでのトラブルシューティングを実施しています。
 - クリティカルな問題の解決に向けてZoom社・ハードウェアメーカーとの協業体制を構築しています。



- 当社のPCライフサイクル管理のナレッジを活用し、その他の特殊運用を実現しています。
 - 安定稼働に向けたZoom Rooms機器のデイリーで再起動運用をしています。
 - 必要に応じてZoom Roomsアプリ、OS、ファームウェアのバージョンアップ、OSセキュリティパッチ適用を実施しています。
 - 拠点ビルの法定停電時にはZoom Rooms機器の一斉停止・一斉起動を行っています。